

| 【教科名】工業英語 Technical English | | | | | 《H25 学修単位科目》 | | | | |
|---|--|---|----|------|--|-----|--------|-----|-----|
| 学年 | 学科 | 単位数 | 期間 | 開設週数 | 学校授業時間 | | 自学自習時間 | | 総時間 |
| | | | | | 時間/週 | 総時間 | 時間/週 | 総時間 | |
| 4 | 物質化学工学科 | (必修) 1 | 後期 | 15 | 1 | 15 | 2 | 30 | 45 |
| 【担当教員】 後藤 宗治 【教員室】 7号館2階 【TEL】 7247 【e-mail】 goto 物質化学工学科教員・中村 裕之 各教員室 | | | | | | | | | |
| 【授業目的と概要】 卒業研究を指導する教員の研究室に学生を配属し、各教員の指導の下に工業英語の輪講を小人数で行うことにより、物質化学工学に関する英語の語彙、文例を学修させる。 | | | | | | | | | |
| 【授業の進め方及び履修上の注意】 小人数の輪講形式を取るため、授業の予習は必ず行うこと。英文を音読する場合は発音を正確に行い、英文和訳をする場合は、文章の意味・内容も理解すること。 | | | | | 【自学自習の指導について】 授業終了後に課題を与え、次週の授業を円滑に進められるようにする。 | | | | |
| 授 業 項 目 | | 内 容 | | | | | | | 時間 |
| 【後期】 松嶋茂憲・小畑賢次 中村裕之 川原浩治・井上祐一 山根大和 竹原健司 後藤宗治 前田良輔 水野康平 園田達彦 | | 「Basic Technical English」、加澤恒雄、成美堂による英文和訳 「アクティブ科学英語（多田旭男他、三共出版）」及び「英語で書く 科学・技術論文（谷口滋次他、東京化学同人）」による英文和訳と英作文 外国の大学で使用される「化学」教科書の中から、卒論と関連深い章の英文和訳、国際会議招聘メール、ワークショップでの英文テキストの英文和訳、関連分野の学術論文の講読、英語でのプレゼン準備を行い、語彙力を高める細胞の分子生物学に関する専門書の英文和訳 「化学英語の手引き」、大澤善次郎、裳華房及び「化学英語 101」、國安 均、化学同人による化学英文の書き方と発音練習及び和訳 有機化学の英文テキストの英文和訳と文法説明 卒業研究に関係する最近の英語論文の和訳と解説 Laboratory Manual and Data Book, Department of Chemistry, The University of British Columbia の音読と和訳 「生物工学英語入門」、大倉一郎他、講談社 "Biochemistry and Molecular Biology", W. H. Elliott & D. C. Elliott, Oxford や卒業研究に関連する最新論文の Reading と英文和訳 | | | | | | | 15 |
| 定期試験 | | | | | | | | | |
| 【達成目標】 ・各教員が指定する「工業英語」教科書の英文を正確に解釈することができる。 | | | | | 【教科書】 各指導教員の指定するテキスト及び論文 【参考書】 各教員に相談のこと。 | | | | |
| JABEE 教育目標 | | (B)①、(D)②、(E)③、(F)② | | | | | | | |
| 準学士課程目標 | | (B)①、(D)①、(E)③、(F)② | | | | | | | |
| 成績 評価 | 【評価基準】 英文の音読、翻訳、内容の説明などを課すことにより、英語能力を判断する。 | | | | 【オフィスアワー】 各指導教員が指定する時間帯 | | | | |
| | 【評価方法】 毎授業課題（英文和訳等）80%、試験 20% | | | | | | | | |

